

LIBRARY



明日から2月！2月は逃げる…卯年だから更にスピードアップ？

『普通のノウル』 イ・ヒヨン著 評論社 2022



16歳でチェ・ジへはノウルを生み、シングルマザーとして懸命に働きながら17歳の今日まで育ててくれた。一緒にいれば姉弟にしか見えない自分たちに向けられる好奇の視線も堂々と受け止めてきた。母には幸せになってもらいたいはずと思っていた。それなのに、

母の恋人候補が、“親友であって決して彼女ではないソンハ”の兄ソンビンと知ると動揺する。自分とは10歳しか変わらないソンビン。母より6歳も下。初めて「普通」がいいと思うノウルだったが…。

『腹を割ったら血が出るだけさ』住野よる著 双葉社 2022



住野よるの作品史上、もっとも多い登場人物とあったので数えてみたら、なんと20人の青春群像劇。一見リア充感たっぷりの高校生系林茜寧だが、恋人の前でも友人の前でも常に相手にとっての理想の自分を演じている。一方でそんな自分が嫌いだったりする。この不思議なタイトルは、誰に対しても腹の内を見せたくない主人公の考えなのか？

腹を割って話せる相手がいることを、あなたならどう捉えますか？

『かわいい子ランキング』ブリジッド・ヤング著 ほるぷ 2022



ある日、「フォード中学校八年生かわいい子ランキング」なる一斉メールが送られてくる。なんと1位は、あまり目立たない詩と本が大好きな少女イブ。美人で成績優秀、陸上部のエースで男子のモテモテのソフィアが2位ということから、学校中に混乱が巻き起こる。そもそも、女の子をランキングするってどういうこと…。

一見ありがちなことだが、そこから見えてくるのは女同士、男同士、そして男と女の一筋縄ではいかない感情やら思い込みやら…。

『ルビーが詰まった脚』ジョン・エイキン著 東京創元社 2022



20世紀後半に活躍したイギリスの児童文学者エイキンの短編を集めた1冊。訳者である三辺律子さんは、子どもの頃エイキンの奇想天外なストーリーや、想像もしていなかった飛躍やディテールの組み合わせに魅了されたが、大人になって読み返し、鋭い社会分析や

批評精神に夢中になり、さらには物語に流れる詩情に心を奪われた。今回は訳者として、また違う魅力を感じたという。つまり良質の児童文学は、大人をも魅了するということなのですね。

『名探偵の生まれる夜：大正謎百景』青柳碧人著 KADOKAWA



大正時代の著名な有名人が主人公。たとえば、芥川龍之介、野口英世、与謝野晶子、江戸川乱歩、平塚らいてう、忠犬ハチなど。彼らが謎解きに挑む、ユーモアミステリ短編集です。文豪たちや政治家たちがどんな時代を生きていたのか、予備知識があるとさらに楽しいか

もしれないけれど、この本で、ふーん、そうだったのか…と知るのもいいと思います。もちろん青柳流の解釈なのでしょうが、きっと社会で学ぶ近代史を違った目で見られるし、近代文学作家に親しみをもつようになるかも！

『日本に住んでいる世界のひと』金井真紀著 大和書房 2022



日本に住んでいる外国人の数は2021年12月末の統計では約276万人。著者の金井さんは、18か国から来た在留外国人の方にインタビューをして、1冊の本にまとめたのですが、「おわりに」を読むと、出版までに様々な紆余曲折があったことが伝わってきます。「日本」という国が、旅人ではない外国籍の方々に決して優しい国ではないということも…。

イラストレーターでもある著者の描く似顔絵の力もあり、読みたくなる1冊。

『なんでも見つかる夜に、ここだけが見つからない』東畑開人 新潮社 2022



中堅心理士として都会で働く著者は、毎日多くのクライエントの話をよく聞き、思ったことを伝える。そして思う。彼らの悩みは、自分の悩みでもあり、この時代のもつ共通の苦しみではないかと。語られる内容は違っても、誰もが皆ひとりぼっちであることに傷ついている。傷ついている人に寄り添うには、学問的に書かれた本ではなく、臨床的に書かれるべきだ…そのことに気付いた著者は、何度も書き直し、推敲を重ね、そしてこの本は出来上がった。

『知らなかったぼくらの戦争』アーサー・ビナード編著 小学館



1967年生まれの著者は日本に住んで20年。日本語での著作も多く、数々の賞も受賞。日本での生活が長くなるにつれ、アメリカで学んできた第二次世界大戦に関する定説に疑問を感じるようになったという。たとえば、本当に真珠湾攻撃は予告なく行われたのか？原爆の投下は戦争を早期に終息させるために必要だったのか…。

『ズラータ、16歳の日記』ズラータ・イヴァシコワ著 世界文化社 2022



ウクライナの少女、ズラータは13歳のある日、叔父さんの私物『日本語独習』という赤い本をもらい、独学を開始。次に出会ったのは漫画『文豪ストレイドッグス』、さらには同名のアニメ！そして見事にハマリ大の日本好きに。ロシアの侵攻が始まったとき、お母さんが言った。「日本に行きなさい！」お母

さんは娘を日本に避難させ、安全な場所で学んでほしかったのだ。全財産16万円を持って、たったひとりでやってきたズラータの140日間の記録が1冊の本に。絵も日本語の文章もちろん彼女が書いた！

『荒井良二のはっぴーなっつ』荒井良二作 ブロンズ新社 2022



このタイトル「はっぴーなっつ」は荒井良二の造語。幸福を意味するハッピーと、作者が子どもの頃から愛読してきたスヌーピーが登場する『ピーナッツ』をかけあわせたもの。去年はスヌーピーの生みの親チャールズ・M・シュルツ（1922～2000）の生誕100年！ちなみに初めてスヌーピーが世に出たのは1950年のこと。作者へのオマージュを込めたこの絵本は、荒井良二の魅力である大胆な明るい色調の絵とピーナッツを連想させるようなコマ割のページがミックスされている。表紙の色も主人公の“わたし”も素敵！重苦しい時代の空気を吹き飛ばすような希望に満ちた絵本こそが、子どもたちには必要です。

1月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録No.	NDC	書名 1	著者名 1	出版者	出版年
038891	019I	答えは本の中に隠れている	岩波ジュニア	岩波書店	2019/06
038886	151H	10代で知っておきたい「同意」の話	ハンコック 文	河出書房新社	2022/01
038881	209S	ホロコーストを生きぬいた6人の子どもたち	シャックルトン	合同出版	2022/11
038879	289K	「ナパーム弾の少女」五〇年の物語	藤えりか 著	講談社	2022/06
038875	311E	ウラジーミル・プーチンの頭のなか	エルチャニノフ	すばる舎	2022/07
038883	329S	ボーダー = Border	佐々涼子	集英社インター	2022/11
038889	361K	15歳からのリーダー養成講座	工藤勇一	幻冬舎	2022/10
038894	361T	人は見た目!と言うけれど	外川浩子 著	岩波書店	2020/11
038888	367C	HAVE PRIDE	コールドウエル	合同出版	2022/09
038893	367M	恋の相手は女の子	室井舞花 著	岩波書店	2016/04
038892	367U	レンアイ、基本のキ	打越さく良 著	岩波書店	2015/10
038895	369K	手話の世界を訪ねよう	亀井伸孝	岩波書店	2009/06
038898	369Y	早引き手話ハンドブック	米内山明宏 監修	ナツメ社	2007/04
038899	369Z	わたしたちの手話学習辞典	編制作委員会 編	全日本ろうあ	2015/09
038896	371S	ペアレントクラシー	志水宏吉	朝日新聞出版	2022/07
038900	383K	ジャンパーを着て四十年	今和次郎	筑摩書房	2022/07
038925	457M	恐竜博士のめまぐるしくも愉快的な日常	真鍋真	ブックマン社	2019/07
038882	472H	有職植物図鑑	八條忠基	平凡社	2022/11
038878	490S	心とからだの倫理学	佐藤岳詩	筑摩書房	2021/08
038595	491N	生贄探し	中野信子	講談社	2021/04
038675	913Ta	ひこぼしをみあげて	瀧羽麻子 作	偕成社	2022/11
038910	930H	快読『赤毛のアン』	菱田信彦	彩流社	2014/05
038850	930S	「不思議の国のアリス」の誕生	ストッフル著	創元社	1998/02
038901	933B	掃除婦のための手引き書	ベルリン[著	講談社	2022/03
038867	933C	不思議の国のアリス	L・キャロル 作	BL 出版	2008/11
038870	935C	少女への手紙	L/キャロル 著	平凡社	2014/11

図書委員会企画「恐竜博士 真鍋真先生とおしゃべりしよう!」を開催しました。



1月27日金曜日の午後、なんとあの「恐竜博士」こと真鍋真先生が、世中の図書館にいらして、たっぷり恐竜学について語って下さいました。国立科学博物館副館長でもある真鍋先生は、子どもたちに科博で授業をしたいと考えていました。ところが2020年からのコロナ禍でそれが難しくなり、形を変えて実施。そしてそれを書籍化したのが『きみも恐竜博士だ!真鍋先生の恐竜教室』(岩波書店2022)です。この日は、6時間目まで

あるこの書籍の内容に沿って、クイズを交え、時に実際に体で恐竜の歩き方などを表現して下さって、楽しい講義をして下さいました。恐竜好きな生徒はもちろんですが、恐竜にそれほど関心なかった人も、真鍋先生のお話を伺い、恐竜について学ぶことは、単なる古代へのロマンではないことを実感したことと思います。

真鍋先生、実は子どもの頃はそれほど恐竜好きではなかったそうです。教師を目指し進学した先での様々な出会いが、先生を恐竜への導いたようですが、このあたりのことを知りたい人には、ぜひ、『恐竜博士のめまぐるしくも愉快的な日常』(ブックマン社)を読んでみてください。今回、新たに恐竜関連本をいろいろ入れて、コーナーを作りました。ぜひ手に取ってみてくださいね。真鍋先生のメッセージもいただきました。「もっともっと恐竜のことに興味をもってね!そうしたら自分のこと、恐竜のこと、地球のこと、未来のことがつながってくるかも?!」



こんなことやってます!



75 回生国語 平家物語と京都



あの古典名著「平家物語」と4月に訪れる京都にはどんなゆかりが?

75 回生 社会「A!で蘇らせたのは誰?」



江戸時代に政治改革を進めた賢人4人、さて誰が蘇ったら21世紀の日本を幸せな国に導いてくれるのか?

74 回生国語 小さな読書会



友だちが自分のために選んだ1冊での読書会。誰かのために本を選ぶ、誰かが選んでくれた本を読む...どちらも楽しいかもしれませんね。

76 回生国語のための特別企画

『不思議の国のアリス』と『赤毛のアン』を題材にもうすぐ授業が!

